



隣町の後蘭水源地の硬度低減化処理後の流末処理の対応は。

和泊町後蘭水源地（硬度低減化装置使用）の下流で異変が起きているが、町として把握されているのか。隣町の対応は。
平成25年9月定例議会 奥山 直武

町長答弁

沈砂池を設け、流末を流すよう改善を図る。とのことです。

処理施設内の沈殿した石灰分の濁りがあふれ、白く濁った水が後蘭字の河川に放流され影響が出たものと考えており、和泊町から、その後の対応策、監視強化について説明を受けました。その内容として「施設敷地に隣接する農地を購入し、沈砂池を設け、流末水をそこへ流すよう改善を図る。」とのことです。

こうなりました

施設隣地に新たに土地を購入し、沈砂池を設けるため工事に着手。

和泊町において後蘭浄水場の流末水が河川に流れないよう施設隣地に新たに土地を購入し沈砂池を設けるため工事に着手しており、年内完成を予定している。



上城・奥ため池は早急な改善策を講じるべきでは。

上城地区の奥ため池は老朽化や気象等により使えなくなっており、施設営農農家は不便をきたしている。早急な改善策を講じるべきではないか。
平成26年6月定例議会 福井源乃介

町長答弁

平成28年に補修工事及び補給水計画を予定。

奥ため池は補給水の施設がありませんので全面的に雨に依存している。また、ため池本体はシートの老朽化などが見られる。このことから28年新規採択予定の県営農村地域防災減災事業で補修工事を予定。また、同年採択予定の県営中山間総合整備事業で上城団地の畑かん事業導入に合わせて奥ため池等の補給水を計画している。

こうなりました

平成28年度採択農村地域防災減災事業で改修。

奥ため池は補給水の施設がありませんので雨に依存している。また、ため池本体はシートの老朽化などが見られることから28年新規採択予定の県営農村地域防災減災事業で補修工事を予定。また、同年採択予定の県営中山間総合整備事業で上城団地の畑かん事業導入に合わせて奥ため池への補給水を計画します。

